

一般質問通告書

佐野市議会議長 様

受付	番号	3
	令和	2年11月25日
	午前・午後	1時45分

議会名	令和 2 年 第 8 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 14 番 田所 良夫		
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 旗川河川について (1) 流下能力と河川機能性の現況について	<p>①旗川橋146mの川幅が満杯で流れ上流で越水決壊なくその水量が押し寄せたとき、下流では越水等が起きないか心配である。寺並橋上流付近から白旗橋までおよそ1.5kmの河川構造での流下能力と河川機能性をどのように認識しておりますか。</p> <p>②寺並橋では全長75m内堤防23m、JR鉄橋では全長およそ75m内堤防25m、白旗橋では全長91m内堤防45mであり、流下能力機能性は内堤防の体積空間と考えます。どうしてこのような現状になっているのでしょうか、当局の認識と見解をお聞きします。</p> <p>③旗川付近に暮らす市民の安全安心防災減災を守るためにはこの状況をどうしていくべきと考えますか。</p> <p>④一級河川旗川を管理されている栃木県に置かれましてはこれらの状況を踏まえ今後どのように取り組んでいこうとしておりますか、本市の認識をお聞きします。</p>		

<p>(2) 旗川付近の住民への危機管理について</p> <p>2. 新型コロナウイルスの感染拡大に対する経済対策について</p> <p>(1) 特に大きな影響を受けている飲食店への支援について</p>	<p>①旗川河川氾濫は過去におよそ120年間に3回(明治29年9月7日、昭和13年8月31日、令和元年10月12日)発生しました。それ以前の江戸時代にはどうであったか、認識はありますか。</p> <p>②旗川河川の増水氾濫はなぜ起こると考えますか。</p> <p>③旗川河川上流の分水嶺を調査研究してみてもいいかですか。</p> <p>①これまでの飲食店への支援状況と成果はどのようなものですか。</p> <p>②今後の更なる取り組みの見通しについてはどのように考えておられますか。</p>
---	---